



令和4年3月特別号  
幸手市立八代小学校  
幸手市平須賀1-14  
TEL: 48-0960  
児童数74名

## 卒業証書授与式，修了式

一人一人が 新たなステージへ

校長 冨澤敏夫



前日の真冬を思わせる冷え込みがうそのように、当日は穏やかな朝を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小せざるを得ない状況でしたが、山西実教育長様、田口由香PTA会長様のお立ち会いのもと、無事に第68回卒業証書授与式を挙行することができました。本校では、証書授与の際、卒業生一人一人が保護者の方に、

「八代小学校で学んだこと」、「将来の夢」、「家族への感謝」等を含めた決意の言葉を伝えていきます。証書授与はもちろん、決意の言葉を届ける卒業生の姿はたいへん立派でした。お立ち会いの方からもお褒めの言葉をいただきました。今後、その決意を大切に、中学校生活という次なるステージを歩んで欲しいと願っています。



さて、卒業式の翌日、登校する子ども達は、6年生が卒業したことで少々寂しげな様子でした。しかし、ここで、私はかつて見たことのない光景を見ることとなります。なんと、卒業生たちが、自分が所属していた登校班の傍らにつき、在校生達の安全を見守りながら歩いてきてくれたのです。

その様子を6年担任に伝えますと、「以前にも同じようなことがあって、自分たちもそうしたいと思ったのでしょうか。」と教えてくれました。

その頃、6年生からバトンを受け継いだ5年生は、卒業式会場の後片付けを行っていました。作業を終えた5年生に話を聞いてみました。

「昨日とちがうことは、どんなことかな。」

「6年生がいません。」「私たちが最上級生です。」

「そう。実質、今日から八代小のリーダーになったね。昨日、6年生からバトンを受け継いだわけですが、卒業式の中の話（お別れの言葉）だけで終わらせないでほしい。そして、卒業した6年生に追いつくのではなく、追い越すことができるように取り組んでいこう。」

「はいっ！」

5年生の真剣な顔つきと元気な返事に頼もしさを感じました。

令和3年度は、間もなく幕を閉じます。一年前と同じ姿の児童は誰一人としていません。子ども達ひとりひとりが、大きく成長しました。保護者の皆様におかれましては、お子様とともにこの一年間を振り返り、成長した喜びを共有するとともに、令和4年度の円滑なスタートに向けた励ましの声をかけていただきますよう、よろしくお願いいたします。

\*地域の皆様へ 学校だより4月号は、発行日の都合から5月号とともにお届けします。学校のホームページでは、4月8日以降に掲載する予定です。令和4年度もよろしくお願いいたします。

\*大切なお知らせ

英語専科教員配置に伴う、クラブ・委員会実施曜日の変更について

令和4年度において、英語専科教員（小学校英語教育充実のための専科指導教員）が配置されることとなりました。

【月曜日1時間（5年）・水曜日4時間（3～6年）・木曜日1時間（6年） 計6時間】

A L T（外国語指導助手）も上記曜日に合わせた配置となります。【週3日】

このことにより、当初予定しておりましたクラブ・委員会の実施曜日（木曜日）については、水曜日に変更となりますので予めご承知置きください。



